28　明倫短期大学附属歯科診療所における訪問歯科診療の実態調査 — 第二報：患者側からみた歯科訪問診療の評価 —

小林　梢[1]，河野雅之[1]，加藤由香里[1]，廣安和枝[1]，井田貴子[3]，江口香里[3]，宮　福子[3]
市川伸彦[1]，水橋庸子[1]，春川麻美[1]，鈴木紗都子[1]，涌井英恵[1]，椎谷　恵[1]，五十嵐有沙[1]
八幡可奈子[1]，小林智美[1]，牧野真理[1]，白井貴美[1]，木暮ミカ[1,2]
[1]明倫短期大学　附属歯科診療所，[2]歯科衛生士学科，[3]新潟大学歯科補綴学第１講座

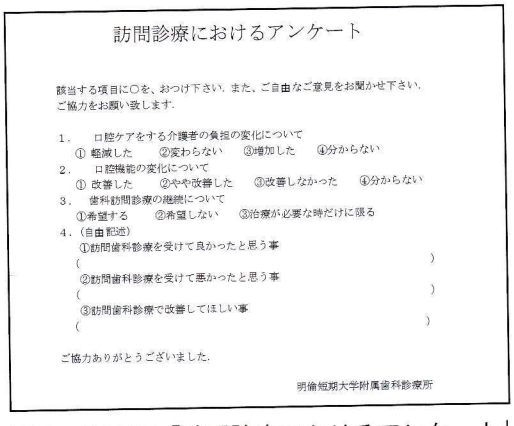
keywords：訪問歯科診療，実態調査，口腔ケア，高齢化社会

はじめに

世界でも経験したことのない急激な高齢化が進む日本で，歯科医院に通うことのできない患者も加速度的に増加しており，歯科訪問診療の需要は今後ますます拡大していくであろう．今回，我々の行っている歯科訪問診療が自立支援や介護軽減にどのように寄与しているかを調査するため，訪問診療先の施設・居宅において介護を担当している施設の職員および家族に対してアンケートを実施し，本診療所の歯科訪問診療に対する満足度を調査したので報告する．

対象および方法

対象：現在，当診療所が歯科訪問診療を行っている14施設の介護担当者20名と居宅の家族10名．
調査期間：平成28年10月
方法：「訪問診療におけるアンケート」として，(1) 口腔ケアをする介護者の負担の変化，(2) 口腔機能の変化，(3) 歯科訪問診療の継続，(4) 歯科訪問診療への評価（自由記述３項目）について，選択・記入式のアンケートを実施した（図１）．


訪問診療におけるアンケート

該当する項目に○を、おつけ下さい．また、ご自由なご意見をお聞かせ下さい．
ご協力をお願い致します．

1．　口腔ケアをする介護者の負担の変化について
① 軽減した　②変わらない　③増加した　④分からない
2．　口腔機能の変化について
① 改善した　②やや改善した　③改善しなかった　④分からない
3．　歯科訪問診療の継続について
①希望する　②希望しない　③治療が必要な時だけに限る
4．(自由記述)
①訪問歯科診療を受けて良かったと思う事
(　　)
②訪問歯科診療を受けて悪かったと思う事
(　　)
③訪問歯科診療で改善してほしい事
(　　)

ご協力ありがとうございました．

明倫短期大学附属歯科診療所

図１　調査票「訪問診療におけるアンケート」

結果および考察

結果を図２に示す．アンケートの回収率は100%であった．アンケート結果より，口腔ケアをする介護者の負担の変化について，「増加した」と感じる者が17%であった．これは口腔ケアについての意識の向上から，細かく口腔ケアをすることで時間的な負担が増加したことが推察される．口腔機能の変化については，「改善した」と「やや改善した」を合わせて86%であり，歯科訪問診療の継続についても，「希望する」が87%であったことより，介護者が訪問歯科診療を受けて満足していることが示唆された．また，訪問歯科診療についての意見として，「高熱が出なくなった」「口臭がなくなった」「食事量が改善した」といった患者の状態の改善を評価する意見や，「口腔ケアのテクニックを知りたい」といった，訪問歯科診療によって間接的に介護者側の意識の向上が図れたと思われる意見もあった．

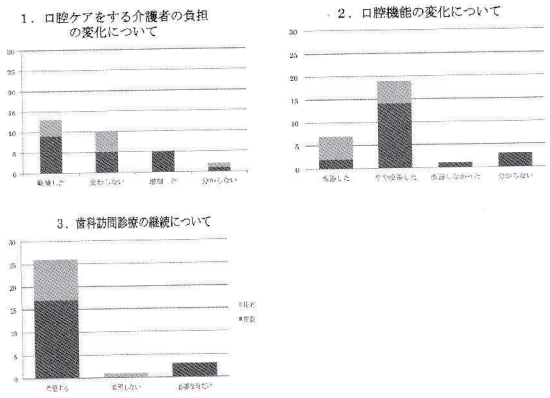


図２　アンケート結果

まとめ

本学歯科診療所における訪問歯科診療について，患者側は概ね満足されていることが分かった．